

座長

## 7. 駐車場における犯罪発生に関する環境要因の検討

三好裕巳\*, 小俣謙二\*  
\*駿河台大学大学院心理学研究科

駐車場の数は増加傾向にある一方、駐車場における犯罪認知件数は少なくない。そのため、犯罪の発生しやすい駐車場の特徴を分析することは重要であると考え、駐車場における犯罪発生に関する環境要因の検討を行った。「防犯・監視カメラが設置されていない」「照明が設置されていない」「柵や塀などで囲われていない」駐車場は犯罪が発生しやすいという仮説を立て、検証を行うとともに他にも犯罪の起きやすい環境要因があるか実地調査を行った。調査の結果「防犯・監視カメラが設置されていない」駐車場では犯罪が発生しやすいという仮説は支持されたが、「照明が設置されていない」「柵や塀などで囲われていない」駐車場は犯罪が発生しやすいという仮説は支持されなかった。その他に「防犯・監視カメラを設置している旨のステッカーを貼っていない」「警備員がいない」「近接する道路が狭い」「規模が小さい」駐車場は犯罪が発生しやすいことが確認された。

## 8. 被疑者の移動性による距離減衰関数の標準化

萩野谷俊平  
栃木県警科学捜査研究所

日本の捜査支援活動に応用されている地理的プロファイリングの手法として、被疑者の居住地が存在する可能性の高いエリアを地図上に幾何学図形で描画する幾何学モデルがある。幾何学モデルについては近年複数の課題が指摘されており、これらの課題を克服する方法として、幾何学モデルを応用した距離減衰関数を作成する方法が考えられる。花山他(2013)は、幾何学モデルを応用した距離減衰関数による拠点推定を検討し、移動性の高い被疑者に対して関数を補正する必要性を指摘している。そこで本研究では、犯行地点間距離から求めた移動性の推定値を標準化距離として距離減衰関数に反映し、各被疑者の地理的パターンに適した距離減衰関数の作成を検討した。標準化した距離減衰関数に対して新規のデータを適用した結果、標準化しない場合に比べて居住地推定の有効性が高く、関数の標準化によって安定した居住地推定を実現する可能性が示された。

## 9. 住宅侵入盗被害傾向と被害宅未施錠傾向に関する研究—茨城県下の市街地を対象として—

土方孝将\* 系井川栄一\*\*, 梅本通孝\*\*, 太田尚孝\*\*, 雨宮護\*\*, 島田貴仁\*\*\*  
\*筑波大学理工学群社会工学類 \*\*筑波大学システム情報系 \*\*\*科学警察研究所犯罪行動科学部

茨城県の住宅侵入盗発生率は最も悪い水準にある。侵入方法として最も多いのが未施錠口からの侵入である。そこで本研究では、茨城県を対象に、住宅侵入盗の被害率と、被害宅のうちの未施錠の割合（未施錠率）について、地理的分布傾向を明らかにし、さらに、地域の社会経済的、物理的環境の特徴との関連を明らかにした。その結果、a)被害率は、駅を中心とした中心市街地ではなく、中心市街地から距離のある既成市街地や、大型小売店舗の存在する地域で高い傾向があり、b)未施錠率は、大型小売店舗が存在する地域や、高齢者人口率が高い地域に高い傾向があることが明らかとなった。このことから、住宅侵入盗被害率は、都市的な特性を有する地域で基本的に高く、そこに、さらに、農村的な特性が混在すると、未施錠率が高くなると考えられた。最後に、これらの結果より、今後の都市農村混在地域における防犯対策のあり方を展望した。

## 10. コンビニ防犯ボックスに関する研究(1):立地地区住民の環境評価

島田貴仁\*, 山本功\*\*  
\*科学警察研究所犯罪行動科学部, \*\*淑徳大学コミュニティ政策学部

千葉県で2013年11月から実施されているコンビニ防犯ボックスモデル事業は、県内2ヶ所のコンビニエンスストア駐車場の一角に建物を設置し、専門知識を持つ職員が、街頭監視、防犯ボランティアとの合同パトロール、住民の相談や事件事故の一次的な対応を行うものである。本事業の開始にあたり、立地地区の住民対象に質問紙法による調査を行ったので、その概要を報告する。

# 日本環境心理学会 第7回大会・総会



於 白鷗大学東キャンパス

2014年3月16日(日)

ワークショップ 10:00~12:00 (11F 第一会議室)

## 『環境認知の階層構造について再考する』

話題提供：大西宏治（富山大学）・柳瀬亮太（信州大学）  
指定討論：羽生和紀（日本大学）・平田乃美（白鴎大学）

環境認知に関するシンポジウムを開催します。環境認知は環境心理学の基礎を支えるテーマの1つであり、初期の環境心理学では盛んに研究がされていました。現在でも、そうした研究は多くの知見を提供し、他領域を含めて多くの引用がされ続けています。一方、近年は環境認知の研究が多くの領域で行われるにつれ、環境心理学「における」、したがって、環境心理学「からの」環境認知研究のプレゼンスが小さくなっているようです。

こうした状況を踏まえ、環境認知研究について再考してみようという趣旨のシンポジウムです。地理学がバックグラウンドの大西先生と心理学の出身の柳瀬先生からご自身の研究を含め環境認知の基礎と応用研究（防災問題・まちづくり）に関しての発表をしていただきます。

環境認知は、広い意味ではどなたにも関係するテーマだと思います。ぜひご参加ください。

運営委員会 12:00~13:15 (11F 第三会議室)

総 会 13:15~14:00 (11F 第一会議室)

## 研究発表 前半 14:00~15:15

### 1. 文化サービスにおける宗教的価値の定量的評価手法の開発(1): 巨木に対する神聖さの実物と写真による差異

座長  
太田貴大\*, 長谷川泰洋\*\*, 川口暢子\*\*\*  
\*文化サービス研究会, \*\*文化サービス研究会(名古屋大学エコトピア科学研究所), \*\*\*名古屋大学環境学研究所

生態系サービスの中で、神聖さ等の宗教的価値は評価対象として扱われてこなかった。日本では社寺の御神木のように巨木を神聖視する文化が根付いており、これが対象の保全に結びつくことが多いため、神聖さ評価の心理的メカニズムを明らかにすることで森林や樹木保全に貢献できる。本研究の目的は、様々な状況での巨木の神聖さの評価手法を確立することである。造園学等の既往評価手法として、コストの低さから写真が頻繁に用いられてきた。そこで巨木の神聖さについて写真と実物で差異が生じるかの検討を行った。その結果、神聖さに関する評価軸を用いたSD法では、一部で程度の差は見られたが、ほぼ全軸で同じ傾向を示した。一方、神聖さの評価に影響を与えた樹木の要素は異なるものが挙がった。また当該評価が巨大なものを見る際に感じるAweに該当するか否かについては、写真と実物で同じ傾向であった。今後、被験者を増やしてさらなる検討が必要である。

### 2. 3次元刺激を用いたスカイラインの環境美学研究

羽生和紀\*・山田悠介\*\*  
\*日本大学文理学部, \*\*日本大学文理学部

スカイラインとは建築物、特に中高層ビルの連なりが生み出す輪郭線からなる都市の遠景を意味する。スカイラインは都市のイメージの主要な要素であり、評価に対して大きな影響を持つことから、これまでも多くの研究が行われてきた。こうした既存研究の多くでは2次元的な刺激を用いているが、本研究では3次元表示の刺激を用いた。独立変数としてスカイラインを構成する2種類（低/高）の高さのビルの比率を操作し、従属変数として選好（好き）と2種類の興味（面白いと興味深い）を用いた。結果は、選好は低・高ビルの高さの比率が中間（1:1）付近のときに最大になっていたが、興味は高いビルの比率と正比例する傾向が見られた。しかし、2種類の興味の反応傾向間にはやや違いが見られた。この結果は全体的にBerlyneの対比の特性と覚醒モデルを支持している。また興味を表現する言葉によって反応に変化が見られることが示された。

### 3. パブリックアートが都市景観の印象に与える影響 ーパブリックアートと背景とのマッチングの検討（2）ー

本山友衣\*, 羽生和紀\*\*  
\*日本大学大学院, \*\*日本大学文理学部

本研究ではRussellとWard(Russell, Ward&Pratt, 1981)の快と覚醒の2次元モデルに基づき、パブリックアート(以下、PA)が都市景観の感情的評価に与える影響について検討した。大学生94名が、「快」得点の高低に基づいて選出したPA2作品を含む都市景観写真12枚について評定を行った。2要因参加者内分散分析の結果、「快」得点と「覚醒」得点の両方において背景×PAの交互作用が有意であった。またPAと背景との調和の程度を聞いた「適合」得点と「快」得点間に中程度の有意な相関が認められ、PAと背景が調和しているという感覚は、景観全体の評価にポジティブに影響を与えることが示された。しかしながら分散分析における効果量の値から、PAと背景のマッチングの効果よりも、PA自体の性質が景観の印象に与える影響が大きいきことが示された。PAの覚醒の差が結果に影響を与えていたことも考えられるため、PAにおける快と覚醒の特性をいかに独立に統制するかが今後の課題である。

### 4. 小学生をもつ母親の回復環境とその選択に関わる要因の検討

畑倫子\*・島田貴仁\*\*・荒井崇史\*\*\*・若林直子\*\*\*\*  
\*文京学院大学, \*\*科学警察研究所, \*\*\*追手門学院大学, \*\*\*\*(株)生活環境工房あくと

小学生をもつ母親に焦点を当て、ストレス状態時に過ごす回復環境と、回復環境の選択とストレスやその強度・個人のパーソナリティ傾向との関係について検討した。回復環境としては、自宅、飲食店、ショッピングモール、実家、屋外空間などが挙げられた。回復環境として挙げられた場所と行われる活動とをクロスコンデン分析を用いて分析したところ関連性が見られた。ストレスサーとしては子ども関連のもの、子ども以外の家族関連のもの、仕事・家事関連のもの、自分関連のもの、生活関連のものが挙げられ、ストレスサーの強度は5%から100%で平均は65.3%であった。ストレスサー強度とパーソナリティの5因子(神経症傾向・外向性・開放性・誠実性・調和性)が選択された回復環境間で差が見られるか、多変量分散分析(MANOVA)を行ったところ有意な差が見られ、被験者間要因の主効果としては、外向性に有意な差がみられた。

### 5. 唾液中αアミラーゼ活性による精神作業場面における社会的自己保存反応の検討(2)

平田乃美  
白鴎大学教育学部心理学専攻

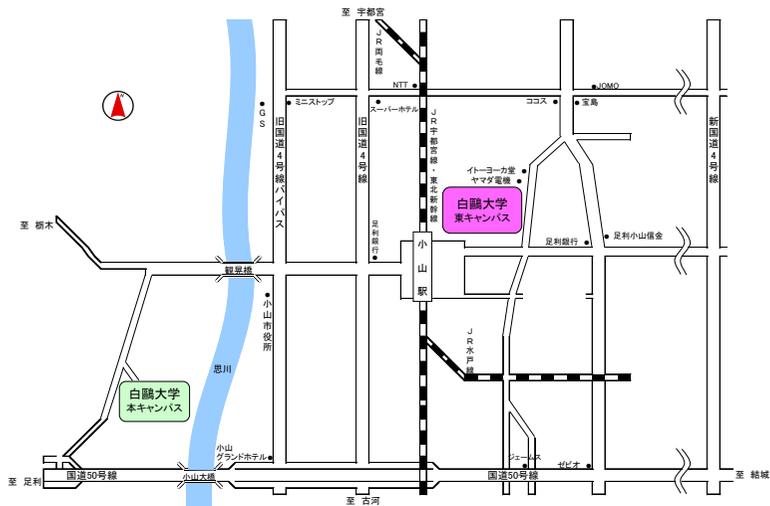
社会的自己保存理論を基盤として、社会的自己が脅かされる文脈での生理・心理的ストレスの測定を試みた。暗算課題の遂行時、単独で対面する相手と競争するIC条件と、二人一組で協力して他ペアと競争するCC条件において、遂行中の社会的文脈が唾液中α-アミラーゼ活性(sAA)に与える影響を検証した。作業条件と時間要因の2要因分散分析が有意でなかったため、暗算課題の正答率別の分析をおこなったところ、正答率の高かった成績達成群・中間群では、IC・CC両条件においてsAA変化はなかった。それに対して、成績不振群では、CC条件においてのみsAAの有意な上昇が認められた。本実験結果より、暗算課題成績不振時の唾液αアミラーゼ値が単独より協同での競争場面で上昇したことが検証され、協同作業場面が社会的自己を脅かすストレスの一因となる可能性が示唆された。

## 研究発表 後半 15:30~16:45

### 6. オンサイトにおける森林風景開放時と遮蔽時の違いからみた印象評価の異同とその要因

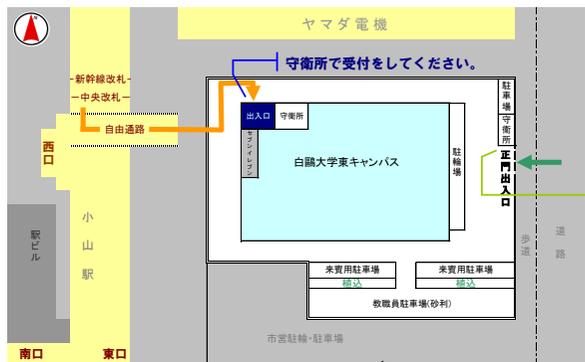
高山範理  
独立行政法人森林総合研究所

森林風景(視覚刺激)の有無による印象評価の特性を把握するため、オンサイトの森林環境にて、被験者15名を対象に、SD法を用いて、単に森林環境を座観体験させた場合(開放時)と、視覚刺激のみを遮蔽した場合(遮蔽時)の印象評価を比較し、環境セッティングの違いがもたらす、印象評価の異同の特性と要因を調べた。その結果、多くの測定指標(形容詞対)において開放時の得点が高い結果になり、その度合いも明らかになった。一方、開放時と遮蔽時では、視覚ではない他の感覚に対応する測定指標についても、差異の生じることが明らかになった。最後に、重回帰分析(変数増減法)を用いた分析の結果、森林風景の開放時と遮蔽時の「好ましき」、「快適性」、「美しき」、「安心感」の印象評価(総合指標)の異同と、それらの総合指標の印象評価に差異をもたらした要因である、具体的な環境要因に対する印象評価(物的環境指標)との対応関係が整理された。



白鷗大学東キャンパス (JR 小山駅東口より徒歩 1 分)  
〒323-8586 栃木県小山市駅東通り 2-2-2 TEL : 0285-22-8900

### 白鷗大学東キャンパス入口のご案内



#### 電車で来学される方へ

中央改札を出て、東に向かい自由通路を渡って、大学方面に進んでください



コンビニエンスストア  
(東キャンパス 1F)

#### 駅周辺地図

<http://sasp.mapion.co.jp/cm/jreast/?icon=jreast139.80>  
94444\_36.3094444&sc1=3000

#### JR 小山駅時刻表 (上り方面)

12	快速 上 上 上 上	04 12 22 41 58	12	埼東 01
13	快速 上 上 上 上	04 12 22 41 58	13	埼東 01
14	快速 上 上 上 上	04 12 22 41 58	14	埼東 01
15	快速 上 上 上 上	04 12 22 38 58	15	埼東 01
16	快速 上 上 上 上 上 上 上	04 15 20 33 41 46 51 57	16	埼東 01
17	快速 上 上 船 快速 上	03 26 41 53 59	17	埼東 01
18	上 上 上 上	11 24 42 51	18	埼東 01
19	上 快速 上 船 上 上 船	02 07 24 37 44 56	19	埼東 01 37
20	上 快速 上 上 上 上 船	03 08 17 23 39 48 58	20	埼東 01 59
21	快速 上 上 上 快速 上 上	04 18 36 42 55	21	埼東 57
22	上 上 上	04 20 46	22	埼東 33
23	大 08			

車種 無・普通, 快速・快速ラビット, 快速・快速  
行先 上・上野, 船・大船, 逗子, 大宮  
車種 埼東・埼東  
行先 東・東京

小山駅 JR 東北本線 (上野方面)

小山駅 新幹線 (東京方面)